

EU 乳製品貿易に関する一考察

平岡祥孝

要旨

小稿では、国際乳製品市場において重要な地位を占めている EU の酪農部門の現状を整理したうえで、乳製品貿易に関して、域外貿易と域内貿易に分けて分析した。近年の国際市場環境の悪化に対しては、EU は酪農政策を機動的に運用して対応している。その結果、需給改善が進み、生乳生産が回復して乳価も上昇基調にある。今後、EU の乳製品輸出はチーズを中心として、域内・域外ともに増加していくと考えられる。

キーワード：EU 乳製品 域内貿易 域外貿易

I. はじめに

小稿の課題は、欧州連合／欧州同盟(European Union, EU)酪農部門の乳製品貿易を分析することにある。

EU は米国と並ぶ農業国(地域)であり、EU 全体の総農用地(2013年)は1億864万haであり¹、国土面積の約43%を占めている。言うまでもなく加盟各国は、様々な歴史や気候風土あるいは経済事情が異なる。加えて、北極圏から地中海沿岸地域まで南北に広がった地形であるために、農業生産は多様である。しかるに酪農業はEU 28か国すべての国で営まれており、重要な産業として位置付けている加盟国も多い。EU 総農業生産額(2015年)に占める酪農(牛乳・乳製品)部門の生産額の割合は14.1%であり、果樹・野菜部門の同23.8%に次ぐ規模である²。

EU 全体の生乳出荷量(2016年)は1億5,239万tであり、全世界の生乳出荷量の約2割を占めている。それは、単一国として世界最大の酪農大国である米国の約1.5倍に達する。

周知のとおり、EU は共通農業政策(Common Agricultural Policy, CAP)を採用している。これまでEU が推進してきたCAP改革の目的は、自由化路線を推進することにあった³。酪農政策も市場志向型への転換を図って、価格競争力を強化して輸出競争力を高めてきた。そのために、酪農経営では規模拡大を推進し、乳業メーカーでは主としてM&A(合併・買収)による多国籍化が進んだ。EU の牛乳・乳製品の自給率は110%以上ある。

それゆえ、EU は牛乳・乳製品の純輸出地域として、国際乳製品市場において確固たる地位を占めている。域内市場が成熟段階を迎えつつある状況を鑑みるならば、今後さらにEU は、途上国・新興国を中心に乳製品需要が増大しつつある状況を視野に入れて、積極的輸出策を選択して国際乳製品市場への参入を強化すると予測される⁴。

それでは、EU の乳製品貿易の現状は如何なるものであろうか。小稿では、EU の主要な乳製品の貿易に焦点を当てて実態分析していきたい。まず、EU 酪農部門の生産構造を整理する。次に主要乳製品の域内貿易、そして主要乳製品の域外貿易に関して分析する。総括として、国際乳製品市場の将来展望とともに、EU の乳製品輸出戦略に言及したい。

II. EU 酪農部門の現状

1. 生乳生産

図表1は、EU の生乳生産(2013~2018年)に関して、経産牛飼養頭数(各年12月時点)と1頭当たり産乳量、および生乳の生産量と出荷量を整理している。経産牛飼養頭数は、2013~16年では2,330万頭程度でさほど変化は見られない。だが、2017年では2,290万頭、2018年では2,260万頭と、減少傾向を示している。1995年までのEU加盟15か国(EU-15)⁵と、2004年以降のEU加盟国13か国(EU-13)⁶を比較するならば、EU-15では1,780万頭程度を維持すると予測されている一方、EU-13は540万頭(2013年)から480万頭(2018年)に減少すると予測されている。

他方、経産牛1頭当たり産乳量は増加傾向を示している。2018年(予測値)を見るならば、EU-15では7,211kg/頭、EU-13では5,660kg/頭であり、約1,550kg/頭の差がある。生乳生産量も同様に増加している。2013年では1億5,390万tであったが、2016年では1億6,380万tとなり、1,000万t程度増加している。そのうちEU-13は

1 European Commission (2016)p.1.

2 大内田(2017)pp.22~23.

3 CAPに関する簡潔な説明は、さしあたり平岡(2012)を参照のこと。また、CAPの改革の推移については、たとえば勝又(2016)を参照のこと。

4 平岡(2016b)pp.95~96.

5 EU-13とは、1995年までにEUに加盟した13か国を指す。ドイツ、フランス、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの原加盟国、英国、アイルランド、デンマーク(1973年加盟3か国)、ギリシャ(1981年加盟1か国)、スペイン、ポルトガル(1986年加盟2か国)、スウェーデン、オーストリア、フィンランド(1995年加盟3か国)である。

6 EU-15とは、2004年以降にEUに加盟した中東欧諸国等15か国を指す。ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、スロベニア、エストニア、ラトビア、リトアニア、マルタ、キプロス(2004年加盟10か国)、ブルガリア、ルーマニア、(2007年加盟2か国)、クロアチア(2013年加盟1か国)である。

図表1 EU 生乳生産(2013~2018年)

	単位	2013	2014	2015	2016 ¹⁾	2017 ²⁾	2018 ²⁾
経産牛飼養頭数 ³⁾	百万頭	23.3	23.3	23.4	23.3	22.9	22.6
EU-15	百万頭	17.8	17.9	18.1	18.1	17.9	17.8
EU-13	百万頭	5.4	5.4	5.2	5.2	5.0	4.8
経産牛1頭当たり産乳量	kg/頭	6,489	6,737	6,863	6,926	7,066	7,211
EU-15	kg/頭	7,040	7,272	7,359	7,409	7,520	7,632
EU-13	kg/頭	4,684	4,951	5,134	5,233	5,443	5,660
生乳生産量	百万t	153.9	159.7	163.0	163.8	164.3	165.5
EU-15	百万t	125.7	130.7	133.8	134.4	134.8	136.0
EU-13	百万t	28.3	29.0	29.2	29.4	29.5	29.6
生乳出荷量	百万t	141.9	148.9	152.7	153.3	154.2	155.6
EU-15	百万t	122.0	127.4	130.8	131.1	131.7	133.9
EU-13	百万t	19.9	21.5	21.9	22.2	22.5	23.7

注1)2016年は推定値。

2)2017年及び2018年は予測値。

3)経産牛飼養頭数は各年12月時点。

出所)European Commission, *Short-term outlook for EU agricultural markets in 2017 and 2018*, Winter 2017, p. 27 を参考に作成。

110万t寄与しているに過ぎない。また2016年の生乳出荷量を見るならば、1億5,330万tである。EU-15では、生乳生産量1億3,440万tと生乳出荷量1億3,110万tとの差は、330万tである。EU-13では、生乳生産量2,940万tと生乳出荷量2,220万tとの差は、720万tである。なお主要な生乳生産国は、ドイツ、フランス、英国、オランダ、ポーランド、イタリア、スペイン、アイルランドの8か国であり、EU生乳出荷量の約80%を占めている。

このようにEU-13では生乳生産は商業的生産もさることながら、自家消費や直接販売の形態が色濃く残っていると推察できる。ポーランドを除く旧東欧諸国の酪農経営の零細性あるいは後進性が見て取れよう。

2. 生乳価格

1984年4月の導入以来、EU酪農政策の基軸とも言えた生乳クォータ制度(Milk Quota System)が、2015年3月末をもって廃止されたことは記憶に新しい。生乳クォータ制度は、生乳生産を強制的に管理する規制型の固定的な制度であった。同制度が廃止された以降は、生乳生産者の自由意志で生乳生産(酪農経営)が営まれる状況が生まれた。増産意欲の高い生産者は生乳生産量を増大させていくことになる⁷⁾。ちなみに2012年に欧州委員会(European Commission)は、生乳クォータ制度廃止以降における生乳取引の方向に関して、「ミルク・パッケージ」(Milk Package)を提示した。「ミルク・パッケージ」の意図は、EUの生乳生産基盤を安定化させるために、生乳生産者が組織的に対応して生乳取引構造を改善しつつ国際市場に対峙することにある⁸⁾。

しかしながら、2014年8月からロシアが欧州産食料の輸入禁止措置を実施したこと、および重要な乳製品輸出市場である中国の国内経済が減速したことが要因となって、生乳価格や乳製品価格が低迷した。酪農部門は厳しい経営環境下に置かれてきた。その後、国際乳製品価格の回復とともに、生乳価格も回復しつつある。

ここで図表2を見てみよう。図表2は、EU加盟国別の生乳価格(2016年10月および2017年11月)を示している。生乳価格を2016年10月と2017年11月で比較するならば、全加盟国で上昇している。2016年前半までは生乳供給が過剰状態となっており、生乳価格が低迷していた。だが、ようやく2016年11月から前年同月比でプラスに転じたのである⁹⁾。

図表2によって、前述した主要な生乳生産国8か国の生乳価格の回復状況を確認しておきたい。2017年11月時点のEU平均生乳価格37.8EUR/kgを上回った加盟国は、イタリア(38.0EUR/kg)、ドイツ(40.5EUR/kg)、アイルランド(41.9EUR/kg)、オランダ(41.8EUR/kg)である。ここで注目した点は、オランダとアイルランドの生乳価格の回復である。2016年10月時点と比較して、アイルランドは12EUR/kg、オランダは12.5EUR/kgそれぞれ上昇した。ちなみに両国は酪農業が基幹産業であり、さらに酪農業を成長産業として位置づけているために、生乳クォータ制度の廃止を強く待ち望んでいた¹⁰⁾。

他方、フランス(36.4EUR/kg)、スペイン(32.4EUR/kg)、ポーランド(36.0EUR/kg)、英国(35.2EUR/kg)

7 EU酪農部門に関しては、クォータ制度下の実態については平岡(2012)を、クォータ制度廃止後の実態については平岡(2016a)を参照のこと。

8 「ミルクパッケージ」に関する詳細な制度的分析については、亀岡(2013)pp.136~155を参照のこと。

9 大内田(2017b)pp.25~27。

10 生乳供給量実績(2014/15年度)を見るならば、オランダは48万6,035t、アイルランドは25万5,798t、それぞれクォータ数量枠を超過している。生乳クォータ制度の廃止前夜および廃止直後の生乳生産状況に関しては、さしあたり平岡(2017)pp.79~82を参照のこと。

は、逆に同 EU 平均生乳価格を下回った。ただ、2016 年 10 月時点の生乳価格が他の 7 か国よりも低位にあった英国は、26.3 EUR/kg から 8.9 EUR/kg 上昇している。

3. 牛乳・乳製品生産

生乳の仕向け先は加盟国によって異なるものの、EU 全体で見ると(2015 年)、チーズ向けが 36%で最大である。次いでバター・脱脂粉乳等向けが 30%、クリーム等向けが 13%である。そして飲用乳向けは 11%となっている¹¹⁾。

図表 3 は、EU の主要な牛乳・乳製品の生産量の推移(2013~2018 年)を示している。飲用牛乳は 3,100 万 t 台の生産水準である。クリームは 2017 年以降、270 万 t 台の水準と予測されている。酸性乳やバターミルク等の生鮮乳製品も、今後は漸増傾向にあると言えよう。

乳製品では、まずチーズ生産量の増産に注目したい。チーズは EU 域内外の需要が高く、他の乳製品と比較して利益率も高いという理由から、一貫して増産傾向にある。2018 年では 1,008 万 3,000 t と予測されており、2013 年よりも 100 万 t 以上の生産拡大となる見込みである。全粉乳と脱脂粉乳の生産量を比較するならば(2015 年)、全粉乳 73 万 2,000 t、脱脂粉乳 153 万 4,000 t である。脱脂粉乳は全粉乳の 2 倍以上の生産量となっていた。バターの生産量は漸増傾向にある。2016 年以降は 240 万 t 台になり、2018 年では 250 万 t に近い水準にまで達すると予測されている。これはバター需要の堅調の証左とも言えよう。

図表 2 EU 加盟国別生乳取引価格

	2016 年 10 月	2017 年 11 月
	(EUR/100 kg)	
キプロス	56.2	56.8
マルタ	48.9	51.2
ギリシャ	38.6	40.6
フィンランド	37.5	38.9
スウェーデン	31.7	39.9
フランス	31.6	36.4
オーストリア	31.4	41.4
イタリア	31.3	38.0
ベルギー	30.5	37.0
ドイツ	30.4	40.5
クロアチア	30.1	32.4
アイルランド	29.9	41.9
スペイン	29.7	32.4
デンマーク	29.4	39.2
オランダ	29.3	41.8
ルクセンブルグ	29.1	38.7
ブルガリア	28.9	31.8
ポーランド	28.3	36.0
ルーマニア	27.9	31.3
ポルトガル	27.4	32.0
エストニア	26.4	34.2
英国	26.3	35.2
スロベニア	26.1	33.2
リトアニア	25.9	33.2
スロバキア	25.8	33.6
ハンガリー	25.3	32.2
ラトビア	24.9	32.7
チェコ	24.4	35.2
EU 平均	29.8	37.8

11 大内田一弘(2017b) pp. 26~27。

出所) European Commission, *Milk Market Situation, various issues* を参考に作成。

図表 3 EU 主要牛乳・乳製品生産量(2013~2018 年)

	単位	2013	2014	2015	2016 ¹⁾	2017 ²⁾	2018 ²⁾
飲用牛乳	千 t	31,767	31,404	31,344	31,272	31,209	31,147
クリーム	千 t	2,575	2,624	2,713	2,690	2,717	2,744
酸性乳	千 t	8,076	7,969	8,045	8,246	8,328	8,412
その他生鮮品 ³⁾	千 t	4,342	4,471	4,817	4,872	4,919	4,965
チーズ	千 t	9,011	9,213	9,550	9,682	9,869	10,083
全粉乳	千 t	732	766	732	759	744	747
脱脂粉乳	千 t	1,108	1,457	1,534	1,596	1,427	1,427
バター	千 t	2,127	2,237	2,341	2,403	2,433	2,491

注 1) 2016 年は推定値。

2) 2017 年及び 2018 年は予測値。

3) バターミルク等生鮮乳製品。

出所) European Commission, *Short-term outlook for EU agricultural markets in 2017 and 2018, Winter 2017*, pp. 27~29 を参考に作成。

III. EU 主要乳製品域外貿易

1. 乳製品主要輸出国

図表 4 は、乳製品別に主要輸出国上位 10 か国の輸出量(2016 年(1~8 月)および 2017 年(1~8 月))を示している。乳製品としては、バターおよびバターオイル、脱脂粉乳、全粉乳、チーズ、ホエーパウダー、ラクトース、

図表4 乳製品別主要輸出国上位10か国(2016年1月～8月及び2017年1月～8月)

バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)		2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(t)		(t)	(t)
ニュージーランド	315,767	280,063	ニュージーランド	814,509	825,997
EU-28	161,533	130,005	EU-28	275,453	280,653
ペラルーシ	52,357	54,484	ウルグアイ	93,430	58,745
オーストラリア	21,074	10,335	アルゼンチン	73,480	38,634
米国	17,405	19,904	オーストラリア	45,285	35,815
メキシコ	8,214	4,036	シンガポール	36,136	35,158
ウルグアイ	7,072	5,899	ペラルーシ	21,861	20,799
インド	4,716	4,808	米国	20,026	16,475
ウクライナ	4,260	12,366	香港	13,407	22,199
マレーシア	3,457	4,674	メキシコ	11,888	65,203

チーズ		ホエーババウダー		ラクトース	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)		2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(t)		(t)	(t)
EU-28	523,634	559,527	EU-28	379,142	384,142
ニュージーランド	230,514	229,544	米国	300,987	330,862
米国	187,989	231,722	ペラルーシ	90,541	70,449
ペラルーシ	136,550	122,811	アルゼンチン	42,414	33,135
オーストラリア	107,647	109,131	オーストラリア	30,712	22,809
スイス	40,804	41,398	カナダ	25,847	42,744
エジプト	33,817	32,220	トルコ	16,787	27,478
アルゼンチン	31,462	29,053	ノルウェー	14,441	12,972
トルコ	29,247	31,959	ウクライナ	13,885	19,227
イラン	25,111	36,671	ニュージーランド	12,063	11,599

濃縮乳		カゼイン		
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)		
	(t)	(t)		
EU-28	187,067	221,092	EU-28	84,513
マレーシア	50,640	47,451	ニュージーランド	67,881
ペラルーシ	48,256	53,596	ウクライナ	3,714
ペルー	36,859	35,701	米国	3,129
南アフリカ	23,511	19,459	インド	2,555
オーストラリア	21,001	25,466	アルゼンチン	1,851
チリ	20,701	20,336	ペラルーシ	1,188
ブラジル	13,709	14,098	南アフリカ	653
米国	12,194	11,127	シンガポール	360
ロシア	12,044	10,931	中国	194

出所)Milk Market Observatory より入手したデータ(2017年10月12日)を参考に作成。

濃縮乳、カゼインを取り上げている。図表4から明らかなように、EU-28は、当該乳製品輸出量において首位または次位を占めている。ここでは、バターおよびバターオイル、脱脂粉乳、全粉乳、チーズ、濃縮乳の輸出量を事例としたい。

バターおよびバターオイルは、ニュージーランドに次ぐ輸出量である。2016年(1～8月)では、ニュージーランド31万5,767tに対して、EU-28は16万1,533tであり、2017年(1～8月)では、ニュージーランド28万63tに対して、EU-28は13万0,005tである。15万t以上の開きがある。

脱脂粉乳は、EU-28が首位を占め、次位が米国そして3位ニュージーランド、4位オーストラリアと続く。2017年(1～8月)の輸出量では、EU-28は56万88t、米国40万849t、ニュージーランド23万9,537t、オーストラリア10万4,780tである。EU-28は次位の米国と比較して16万t弱多く、脱脂粉乳の輸出では強固な地位を保っている。

全粉乳では首位のニュージーランドが圧倒的に優位に立っている。2017年(1～8月)の輸出量ではニュージーランド82万5,997tに対して、次位のEU-28は28万653tである。54万5,000t以上の開きがある。3位メキシコ6万5,203t、4位ウルグアイ5万8,745tと続く。アルゼンチン、オーストラリア、シンガポールは3万t台に止まっている。

EU-28のロシア向けが乳製品輸出の約7割がチーズであったために、EU産チーズは、ロシアによる禁輸措置の影響を最も大きく受けたと言える¹²。しかしながら、他国・他地域への輸出を順調に伸ばして対応してきた。2016年(1～8月)の52万3,634tから、2017(1～8月)では55万9,527tと、3万6,000t程度輸出を伸ばした。2位ニュージーランド、3位米国とは、32～33万t程度の差があり、EU-28がチーズ市場においても、脱脂粉乳と同様に優位性を維持している。

12 ロシア禁輸措置の影響に関しては、たとえば木下(2016)pp.164～170を参照のこと。

2. 乳製品主要輸入国と輸出地域 EU の地位

図表5は、乳製品別に輸入国上位10か国の輸入量(2016年(1～8月)および2017年(1～8月))ならびEUからの輸入比率を示している¹³。前述したとおりロシアは禁輸措置を発動しているために、EUからの輸入比率はゼロである。

図表5から明らかなように、全体的に見て中国はEU産乳製品の巨大市場である。しかるにEUからの輸入比率は、乳製品によって大きく異なる。バターおよびバターオイルは7万t以上輸入しているものの、輸入比率は11%である(2017年1～8月)。脱脂粉乳と全粉乳の輸入比率は、それぞれ28%、3%である(2017年1～8月)。ただし香港の全粉乳輸入に占めるEUの比率を見るならば、2016年(1～8月)では63%、2017年(1～8月)では59%と高い。濃縮乳は1万6,306万tの輸入量であるが、EUからの輸入比率は71%である(2017年1～8月)。圧倒的にEUへの依存度が高い。ちなみに香港は54%である。なおチーズは、日本、ロシア、米国に比べて輸入量は半分以下である。

米国ではバターおよびバターオイルに関して、EUからの輸入比率が37%(2016年1～8月)から60%(2017年1～8月)へと、大きく上昇している。チーズに関してもEUへの輸入依存度が極めて高く、70%となっている。日本はチーズの最大輸入国である。2016年(1～8月)では17万2,732t、2017年1～8月では17万8,157t輸入している。そのEUからの輸入比率は、それぞれ28%、32%である¹⁴。

その他注目すべき点は、ホエイパウダー、ラクトース、カゼインの輸入国において、EUからの輸入比率が高い国が見られることである。ホエイパウダーでは、インドネシアとマレーシアが70%台、タイが60%台となっている。ラクトースはホエイパウダーほどEUへの依存度の高さを示していないものの、日本、ニュージーランド、インド、韓国、タイは30%台である(2017年1～8月)。カゼインはおしなべてEUへの輸入依存度が強い傾向にあると見て取れる。タイ59%、韓国55%、マレーシア53%、インドネシア50%が大きい。また、メキシコ、米国もそれぞれ45%、43%である(2017年1～8月)。

13 これまでの主要輸入国別に見た、バター、チーズ、脱脂粉乳、全粉乳の域外輸出の推移(2012～2014年)に関しては、平岡(2016b)pp.107～112を参照のこと。

14 2017年7月6日に発表された日EU・EPA(経済連携協定)の大枠合意の中で、相互の地理的表示(GI)制度を認め合うこととなった。これは、伝統的なチーズ生産を行ってきたEUに有利に働く可能性が予想される。

IV. 域内乳製品貿易

まず、EU域内における牛乳・乳製品の消費割合としては、飲用牛乳18%、クリーム6%であり、またチーズ23%、バター10%、ヨーグルト5%、脱脂粉乳4%、全粉乳2%等である。生乳の域内利用は、過去10年間で800

図表5 乳製品別主要輸入国上位10か国(2016年1～8月及び2017年1～8月)

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
中国	59,626	70,798	154,859	192,267	337,475	373,451
ロシア	55,201	68,938	142,888	184,676	148,652	191,988
米国	33,410	28,461	92,231	78,585	83,007	61,991
メキシコ	29,882	28,547	79,344	77,455	56,245	52,833
イラン	23,836	21,387	77,332	113,401	53,443	53,584
エジプト	22,333	9,645	73,815	75,202	49,002	50,206
オーストラリア	18,466	22,635	73,812	76,773	36,740	42,060
フィリピン	16,027	17,588	38,602	44,711	28,158	22,558
シンガポール	14,774	12,133	36,765	40,868	23,567	27,934
カナダ	14,316	15,666	21,834	33,402	19,585	29,356
中国						
アルジェリア						
ブラジル						
香港						
スリランカ						
シンガポール						
タイ						
インドネシア						
ロシア						
マレーシア						

チーズ

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
日本	172,732	178,157	325,933	352,438	59,554	60,925
ロシア	130,583	124,335	80,528	53,778	48,783	53,208
米国	130,489	116,852	56,690	59,332	47,602	62,799
韓国	73,296	88,076	43,257	40,818	23,092	23,826
メキシコ	72,594	73,556	41,991	42,673	18,576	25,688
オーストラリア	64,748	80,105	33,270	35,787	15,751	16,245
中国	64,043	79,008	26,136	28,089	15,569	16,921
EU-28	47,673	36,519	25,829	19,874	12,826	11,897
スイス	38,985	40,884	25,211	27,780	11,287	13,455
エルサルバドル	27,642	32,845	22,468	29,458	9,231	13,375

ホエーババウダー

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
中国						
ロシア						
インドネシア						
マレーシア						
タイ						
日本						
フィリピン						
カナダ						
メキシコ						
米国						

ラクトース

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
中国						
日本						
ニューージーランド						
メキシコ						
インド						
韓国						
インドネシア						
タイ						
シンガポール						
オーストラリア						

濃縮乳

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
香港	37,452	35,197	53,180	50,810	50,810	41
ロシア	29,357	33,328	17,072	15,758	15,758	43
米国	20,101	19,223	15,300	12,638	12,638	28
フィリピン	15,837	19,376	10,262	9,849	9,849	39
中国	12,601	16,306	9,384	8,966	8,966	29
台湾	7,680	10,301	4,488	4,845	4,845	56
シンガポール	5,813	5,256	4,055	3,079	3,079	19
インドネシア	4,518	6,510	3,795	4,086	4,086	43
ポリビア	4,483	4,667	3,707	3,316	3,316	45
コスタリカ	3,681	4,014	2,667	2,574	2,574	63

カゼイン

	バターおよびバターオイル		脱脂粉乳		全粉乳	
	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)	2016年(1～8月)	2017年(1～8月)
	(t)	(%)	(t)	(%)	(t)	(%)
米国						
EU-28						
中国						
メキシコ						
日本						
韓国						
カナダ						
インドネシア						
タイ						
マレーシア						

出所)Milk Market Observatory より入手したデータ(2017年10月12日)を参考に作成。

万t増加している¹⁵。

次にEU域内の乳製品貿易について、バター、チーズ、脱脂粉乳、全粉乳を事例に分析していく。図表6はバター域内貿易量(2016年)、図表7はチーズ域内貿易量(2016年)、図表8は脱脂粉乳域内貿易量(2016年)、図表9は全粉乳域内貿易量(2016年)をそれぞれ整理している。図表6～図表9では、横の欄の加盟国が輸入国、縦の欄の加盟国が輸出国である。

図表6によれば、バターの域内総貿易量は75万1,526tであった。輸出国としては、オランダ19万158t、アイルランド13万4,502t、ドイツ11万4,578tが上位3か国である。輸入国としては、フランス15万6,888t、ドイツ13万885t、オランダ12万2,230tが10万t台の輸入実績であり、英国7万8,269t、ベルギー7万2,453tが続く。オランダとドイツは輸出入双方とも大きい。アイルランドは輸出主体であり、そのうち英国向けの割合が最も大きく、5万859t輸出している。

図表7によれば、チーズの域内総貿易量は417万681tであった。輸出国としてはドイツが106万2,556tで最大を誇っている。オランダ73万100t、フランス55万6,769t、デンマーク30万5,458t、イタリア29万2,702tと続く。3位のフランスと4位のデンマークでは、輸出量に25万t以上の開きがある。

ちなみにバターの域内価格(オランダのブランドバター価格)は434 EUR/100 kg(2017年12月暫定値)、チェダーチーズ域内価格(英国内における倉庫渡し価格)は300ポンド/100 kgであった(2017年12月暫定値)。対前年比ではバター98.9%、チェダーチーズ93.8%である¹⁶。

図表8によれば、脱脂粉乳の域内総貿易量は64万4,583tであった。輸出国としては、ドイツ24万2,035t、フランス9万209t、ベルギー7万3,900tが上位3か国である。輸入国としては、オランダ22万1,632tで最大の輸入国である。イタリア6万9,939t、ベルギー5万4,014t、ドイツ4万7,511t、スペイン4万6,406tと続く。首位のオランダと次位のイタリアでは、15万t以上の開きがある。

図表9によれば、全粉乳の域内総貿易量は31万181tであった。域内総貿易量で比較するならば、全粉乳は脱脂粉乳の半分以下である。英国4万9,928t、ドイツ4万7,929t、フランス4万5,800t、ベルギー4万4,362t、オランダ4万2,792tの5か国が、4万t台の輸出国である。輸入国としては、オランダ5万8,228t、ドイツ4万8,232t、フランス4万6,279tが上位3か国である。

域内乳製品貿易においては、ドイツが最大規模を誇る輸出大国である。オランダは、バターおよびチーズを輸出の中核に据えている。フランスは、バター輸出に比べてチーズ輸出が顕著である。英国はバターとチーズに関して、アイルランドからの輸入に大きく依存している。なおEU-13の中で酪農大国とも言えるポーランドは、ドイツとの貿易依存関係が最も強いことが伺える。

V. むすびにかえて

前述したように、EU酪農部門は国際乳製品市場における競争力強化を目指して、市場志向性を高めたCAPに対応しつつ効率的な生乳生産を追求してきている。生乳クォータ制度が廃止されて供給規制が撤廃された。EUが乳製品輸出志向を強めていく一方で、ロシアが実施した欧米諸国に対する農畜産物禁輸措置や、中国の経済減速にともなう国内需要停滞などの国際環境は厳しい。しかしながら、生乳生産者あるいは乳業メーカーは政策的支援を受けながら、需給改善に取り組んでいる。

EU酪農政策に焦点を当てるならば、まず機動的な市場対応措置を運用していることである。この市場措置として、公的買入れ(Public Intervention)と民間在庫補助(Private Storage Aide)がある。公的買入れは、各加盟国におけるバターおよび脱脂粉乳の卸売価格が公的買入れ価格を下回った場合に、当該国の買入機関が製造業者もしくは取扱業者の申請に基づいて、公的買入れ価格で買い上げる措置である¹⁷。民間在庫補助は、民間企業が保管するバターおよび脱脂粉乳の保管費用を補助する措置である。欧州委員会(European Commission)が、当該乳製品の需給状況を見ながら期限を定めて実施する¹⁸。

公的買入れは、市場から対象乳製品を隔離することによって、当該域内乳製品価格の安定を図り、間接的に生乳取引価格を下支えすることが目的である。民間在庫補助は、対象乳製品を一定期間にわたって市場から隔離することによって、需給引き締めを図りながら当該域内乳製品価格を底上げすることが目的である。

そして、欧州委員会は緊急支援策の一つとして生乳出荷削減奨励事業を実施した。生乳出荷削減奨励事業は、

15 European Commission(2016) p.6~7。

16 alicを通して入手したZMBのデータに基づく。

17 現在の公的買入れ価格は、バター221.75 EUR/100 kg、脱脂粉乳169.80 EUR/100 kgに設定されている。買入対象期間は毎年3月1日から9月30日であり、買入限度数量はバター5万t、脱脂粉乳10万9,000tである。

18 直近での民間在庫補助は、ロシアが禁輸措置を発動した翌月の2014年9月から実施された。バターとチーズは2016年9月まで、脱脂粉乳は2017年2月まで、上限数量の変更等を伴いつつ実施された。

図表6 バター域内貿易(2016年)

輸出国	輸入国	フランス	ドイツ	オランダ	英国	ベルギー	イタリア	スペイン	チェコ	デンマーク	オーストリア	スロバキア	ポーランド	アイルランド	スウェーデン	ルーマニア
オランダ	58,490	69,678	34,327	6,053	38,302	2,291	2,680	342	759	342	1,515	204	1,215	658	901	480
アイerland	15,862	24,949	34,327	50,859	4,409	87	667	313	859	313	689	689	879	639	879	81
ドイツ	17,622	25,553	25,553	2,063	6,280	7,804	3,516	9,501	8,103	9,112	8,103	5,147	5,285	1	366	1,809
ベルギー	33,758	14,877	26,167	3,740	6,588	10,394	2,774	1,028	420	2,274	420	139	960	95	245	305
フランス	1,277	6,393	3,587	6,838	8,538	3,705	3,156	1,028	317	108	317	5,150	497	2,794	10	663
オランダ	7,373	2,924	4,295	1,441	10,636	580	252	70	87	70	207	7,036	9	7,036	32	4,453
英国	14,758	332	9,331	86	575	86	306	6	148	19	93	0	513	0	4,096	0
フィンランド	700	2,809	2,410	6,959	796	806	306	6	125	45	93	0	1,118	0	4,080	35
ポルトガル	3,489	547	2,788	36	1,113	2,539	5,453	45	125	0	0	0	8	0	0	0
スペイン	3,444	91	4,187	62	35	131	135	131	14	86	191	82	379	2	2	64
イタリア	40	2,457	1,153	0	32	3,274	2,255	42	0	0	2	764	21	59	0	3
オーストリア	9	1,164	86	0	0	220	220	2	0	0	0	0	70	15	0	0
チェコ	21	12	548	4	0	591	0	0	53	0	0	0	17	0	0	408
ラトビア	1,226	1,546	78	53	0	0	0	0	72	0	72	4	5	0	0	450
スロバキア	3	332	496	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エストニア	20	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポルトガル	0	0	0	0	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ルタセンブルグ	24	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スウェーデン	0	21	62	65	0	0	0	0	0	208	4	11	87	0	0	44
ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギリシャ	1	1	21	8	0	15	11	0	0	0	0	2	15	0	0	1
ルーマニア	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スロベニア	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロアチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キプロス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	156,888	130,885	122,230	78,269	72,453	34,569	19,258	18,997	13,906	11,089	10,895	9,735	8,796	8,796	8,796	8,796

輸出国	輸入国	ハンガリー	ギリシャ	ブルガリア	ポルトガル	リトアニア	クロアチア	ラトビア	スロベニア	ルタセンブルグ	エストニア	キプロス	マルタ	フィンランド	合計
オランダ	2,837	1,467	585	67	21	1,188	43	3	96	13	20	211	60	190,158	190,158
アイerland	8	100	1,948	453	191	1,347	51	1,334	88	5	457	228	214	134,502	134,502
ドイツ	181	481	274	466	94	24	41	1,254	98	102	98	102	59	18	114,578
ベルギー	605	545	194	489	89	61	45	323	1	41	28	41	28	3	99,953
フランス	1,042	372	1,075	983	437	299	131	8	2	35,713	35,713	35,713	35,713	35,713	35,713
オランダ	275	74	13	43	43	127	841	841	841	841	841	841	841	841	841
英国	40	1,070	29	7	9	4	15	0	95	24	79	24	24	21,475	21,475
ポルトガル	0	0	0	1,915	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,494	13,494
スペイン	36	1,200	36	9	0	25	6	102	1	1	1	0	86	12,404	12,404
イタリア	72	2	2	2	1	22	96	0	0	0	0	1	0	6,201	6,201
オーストリア	232	0	21	6	234	1,303	111	385	175	0	0	0	0	4,982	4,982
チェコ	513	109	28	1	9	9	0	0	0	0	0	0	0	3,941	3,941
ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,437	3,437
リトアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,972	1,972
スロバキア	90	115	229	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,705	1,705
エストニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,292	1,292
ポルトガル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	567	567
ルタセンブルグ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	503	503
スウェーデン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	327	327
ハンガリー	45	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	296	296
ギリシャ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	194	194
ルーマニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	134
スロベニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15
クロアチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
キプロス	8,660	7,578	5,880	3,502	3,083	1,978	1,910	1,720	1,659	1,697	1,697	1,269	533	751,526	751,526

出所)Milk Market Observatory より入手したデータを参考に作成。

図表8 脱脂粉乳域内貿易(2016年)

輸出国	輸入国											合計			
	オランダ	イタリヤ	ベルギー	ドイツ	スペイン	フランス	ポーランド	英国	アイルランド	オーストリア	ブルガリア		ギリシャ	デンマーク	ルーマニア
オランダ	98,020	31,239	17,983	17,983	13,265	10,667	24,525	6,764	5,624	13,596	2,298	2,914	2,378	886	3,449
ドイツ	24,490	14,393	21,308	5,376	11,481	18,181	735	5,120	2,555	1,066	453	1,357	389	516	291
ベルギー	38,731	8,598	3,108	3,108	5,600	12,039	231	1,463	0	457	968	843	216	68	8
イタリヤ	6,284	7,703	15,372	15,372	3,602	5,657	997	909	90	262	266	335	69	151	259
フランス	13,973	930	6,189	1,121	1,121	1,959	1,631	8,289	1,478	1,478	4,502	244	303	2,286	0
ポーランド	9,684	5,804	6,444	3,634	209	267	63	2,528	18	203	4,502	681	78	0	14
英国	10,814	145	3,726	2,263	333	1,645	63	1,597	11,763	140	23	459	2,602	242	2,009
アイルランド	9,186	709	560	6,049	2,926	248	529	1,597	1,267	1,267	23	354	354	4	3
オーストリア	5,877	978	37	2,284	44	222	3	2	2,192	5	2,062	1	1	607	83
ブルガリア	5,407	1,272	189	784	229	23	1,600	1	3,121	76	66	70	137	854	0
ギリシャ	2,242	490	852	213	1,924	30	133	751	0	55	4	15	1	109	119
デンマーク	385	18	965	151	96	2,091	390	218	0	7	1,034	40	145	172	0
ルーマニア	108	22	570	622	96	380	641	87	0	0	137	8	8	46	47
スウェーデン	570	326	5	127	8	7	6	356	20	0	443	371	903	81	0
オーストリア	461	237	45	489	22	0	88	0	0	0	641	123	0	0	0
ブルガリア	0	0	0	1	1	0	0	6	0	0	641	97	0	0	0
ギリシャ	6	3	0	1	1	0	5	97	0	0	51	51	0	0	0
デンマーク	22	52	0	4	4	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0
ルーマニア	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
スウェーデン	221,632	69,939	54,014	47,511	46,406	35,280	34,315	27,437	25,383	17,659	13,831	7,429	7,042	6,996	6,282
合計	221,632	69,939	54,014	47,511	46,406	35,280	34,315	27,437	25,383	17,659	13,831	7,429	7,042	6,996	6,282

輸出国	輸入国											合計		
	ポルトガル	スロバキア	クロアチア	ハンガリー	チェコ	リトニア	スロベニア	キプロス	エストニア	ルクセンブルグ	ラトビア		マルタ	フィンランド
ポルトガル	2,477	2,652	483	472	367	407	394	1,040	1	111	4	18	1	242,035
スロバキア	93	176	594	113	594	143	222	96	39	28	0	56	79	90,209
クロアチア	326	0	662	218	85	1	0	23	4	205	0	4	46	73,900
ハンガリー	385	0	22	65	21	3	2	30	0	181	0	56	54	42,775
チェコ	27	20	408	374	423	766	663	0	138	0	104	3	0	36,473
リトニア	8	0	45	45	13	0	0	4	0	0	0	58	1	31,115
スロベニア	97	3	2	155	0	46	0	137	10	2	19	50	27	26,945
キプロス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,364
エストニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,078
ルクセンブルグ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,572
ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,787
マルタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,345
フィンランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,539
合計	4,464	3,918	2,981	2,406	2,026	1,810	1,448	1,400	1,036	670	530	495	243	644,583

出所)Milk Market Observatory より入手したデータを参考に作成。

図表9 全粉乳域内貿易(2016年)

輸出国	オランダ	ドイツ	フランス	イタリア	アイルランド	ベルギー	英国	スペイン	ポーランド	オーストリア	リトアニア	ギリシャ	スウェーデン	ルーマニア	デンマーク
英国	18,154	2,473	398	120	25,571	2,786	4,511	300	14	0	0	6	2	41	98
ドイツ	7,578	10,045	6,373	10,045	1	4,850	7,022	1,918	4,470	3,278	4	827	745	41	1,754
フランス	5,336	10,065	6,806	8,806	139	10,346	1,625	4,127	283	4	4	658	698	26	1
ベルギー	9,129	765	28,671	825	29	4,281	2,166	4,986	1,463	17	861	593	0	88	14
オランダ	10,463	17,733	4,315	4,157	29	4,281	6,078	220	944	861	61	777	1,282	169	12
アイルランド	813	6,235	2,056	1,470	20	198	469	109	1,222	141	148	49	0	275	140
ポーランド	331	1,532	113	315	20	36	108	45	338	668	196	237	35	76	0
スウェーデン	5,196	69	427	1,238	3	186	76	894	67	0	6	6	7	23	72
ポルトガル	510	3	427	1,238	3	186	19	1,703	67	11	322	322	7	289	26
オーストリア	156	3,812	10	38	1	15	503	1	19	1	195	1	0	1	2
スペイン	34	5	2,941	61	1	15	503	4,093	19	0	4,093	1	0	1	2
エストニア	20	20	0	0	6	401	1	161	1,093	17	17	35	57	1,305	0
デンマーク	365	210	173	690	6	401	1	161	1,093	0	0	35	369	1,305	0
アイルランド	38	38	649	649	5	18	1	7	4	8	0	7	0	9	0
イタリア	36	25	649	649	5	18	1	7	4	8	0	7	0	9	0
ルーマニア	7	0	0	70	1	0	3	0	11	0	42	242	0	0	0
ラトビア	120	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0
スロバキア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギリシャ	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0
リトアニア	0	1	43	0	0	59	0	0	23	0	0	0	0	0	0
ルクセンブルグ	0	8	0	0	0	1	0	1	0	8	8	0	0	3	1
ハンガリー	0	8	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
スロベニア	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
クロアチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	58,228	48,232	46,279	26,636	25,772	23,833	22,583	14,874	9,952	5,023	4,569	3,761	3,390	2,780	2,395

輸出国	スロバキア	ブルガリア	チェコ	クロアチア	ポルトガル	ハンガリー	エストニア	マルタ	ルクセンブルグ	ラトビア	キプロス	フィンランド	合計	
英国	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	49,928	
ドイツ	61	639	210	84	233	136	4	33	32	50	46	6	47,929	
フランス	9	328	193	22	12	18	15	2	18	141	10	10	45,800	
ベルギー	4	189	128	170	19	59	6	72	6	0	23	65	44,362	
オランダ	13	171	851	522	467	6	6	4	2	6	0	23	42,792	
アイルランド	4	171	851	522	467	6	6	4	2	6	0	23	27,827	
ポーランド	4	171	851	522	467	6	6	4	2	6	0	23	11,616	
スウェーデン	1,910	45	772	772	0	692	386	0	0	14	14	10	7,577	
ポルトガル	0	0	0	0	144	395	0	0	0	0	0	10	7,071	
オーストリア	1	224	25	22	0	50	82	0	0	0	12	2	5,043	
スペイン	5	5	5	22	395	50	2	233	2	2	2	2	4,412	
エストニア	0	0	2	0	0	5	2	0	0	1	0	2	4,224	
デンマーク	0	0	2	0	0	5	2	0	0	1	0	2	4,116	
アイルランド	8	0	0	3	0	1	5	1	0	0	0	2	3,189	
ルーマニア	10	0	0	0	0	1	5	1	0	0	0	0	1,344	
ラトビア	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	847	
スロバキア	3	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	237	
ギリシャ	83	1	0	0	0	30	0	0	0	0	36	0	205	
リトアニア	1	0	0	0	0	6	0	0	0	54	0	0	108	
ルクセンブルグ	11	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	103	
ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
スロベニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
クロアチア	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
合計	2,012	1,707	1,647	1,619	1,271	1,129	911	779	243	197	131	128	100	310,181

出所)Milk Market Observatoryより入手したデータを参考に作成。

19 2016年7月、欧州委員会は生乳取引価格の低迷に対処すべく、緊急支援策(総額5億EUR)を発表した。その一環として生乳出荷削減奨励事業が実施された。前年より生乳出荷量を削減した生産者に対して、生乳1kg当たり0.14EURの奨励金を交付するものであった。2016年10月～2017年1月までを交付対象期間として、同事業が実施された。その結果、生乳約83万tの減産効果が見られた。

20 2016年(1～12月)におけるEUの主要乳業メーカー16社の平均支払い乳価は、100kg当たり27.91EURで、30EUR台を割り込んでいた(『日刊酪農乳業速報』2017年2月9日)。しかるに、2017年8月におけるEU主要乳業メーカー15社の平均支払い乳価は、100kg当たり36.03EURに上昇した(『日刊酪農乳業速報』2017年10月31日)。

21 EU-13の一人当たり年間のバター消費量とチーズ消費量について見るならば、2011年ではそれぞれ2.2kg、11.9kgであった。2024年には同バター消費量は3.3kg、同チーズ消費量は16.4kgまで増大すると予測されている。この点詳しくは、European Commission(2014)pp.65～66を参照のこと。

22 「二人っ子政策」への転換によって、育児用粉乳の需要は増加している。そのため、全粉乳、脱脂粉乳の輸入が増加傾向にある。また、ヨーグルト需要も大幅に拡大している。

23 国際通貨基金(2018)pp.3～4。

生乳の供給過剰を是正して需給引き締めを図り、低迷が長引く生乳取引価格の回復を実現する目的として、前年より生乳出荷量を削減させた生産者に対して奨励金を交付する事業であった¹⁹。

これらの政策を推進した結果、生乳の需給関係が改善傾向を示し始めている。それとともに乳価の回復基調も鮮明となっている²⁰。2018年の世界の乳製品輸出量はチーズを中心に拡大するという見通しもある。それゆえ、生乳増加分は今後さらに、収益性が高いチーズに仕向けられると予想される。域内では、EU-13を中心とした域内需要も増加することが予測されている²¹。また、世界経済の成長率予測が上方修正されている。域外に眼を転じれば、人口13億人を擁する中国の巨大市場は内外需とも底堅く²²、6%台半ばの経済成長を見込んでいる。インドは経済成長が加速し、7%台半ばの成長予測である²³。

脱脂粉乳の公的在庫(38万t程度)等の不確定要素は無視できないものの、EU乳製品貿易は、域内貿易・域外貿易ともに拡大していくと推察できる。ただし、乳製品の輸入大国である英国のEU離脱問題(Brexit)が、乳製品貿易に如何なる影響を与えるかについては、注視していかなければならないであろう。

参考文献

- [1] 大内田一弘(2017a)「EU酪農の現状と展望～日EU・EPA大枠合意目前に開催されたEU乳業関係者からの会合から～」『畜産の情報』, pp.84～99。
- [2] 大内田一弘(2017b)「EUにおける酪農、牛乳乳製品の需給動向～官民一体となった需給改善の取り組み～」『畜産の情報』, pp.22～37。
- [3] 勝又健太郎(2016)「EUの共通農業政策(CAP)の変遷と新CAP改革(2014-2020年)の概要」農林水産政策研究所『平成27年度カントリーレポート』pp.1～36。
- [4] 亀岡鉦平(2013)「生乳クォータ制度廃止をめぐる近年の議論の動向」『比較法学』第46巻3号, pp.117～158。
- [5] 木下順子(2016)「EUの酪農政策改革と市場動向」, 農林水産政策研究所『平成27年度カントリーレポート』pp.155～171。
- [6] 国際通貨基金(IMF)(2018)『世界経済見通し 改訂見通し』pp.1～8。
- [7] 平岡祥孝(2012a)「近年のEU生乳クォータ制度に関する一考察」『札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要』第42号, pp.13～20。
- [8] 平岡祥孝(2012b)「共通農業政策」辰巳浅嗣編著『EU 欧州統合の現在[第3版]』創元社, pp.130～138。
- [9] 平岡祥孝(2015)「EU生乳クォータ制度に関する経済分析——イギリス酪農業を事例として——」『日本EU学会年報』第35号, pp.274～298。
- [10] 平岡祥孝(2016a)「近年のEU酪農部門に関する一考察」『札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要』第46号, pp.59～69。
- [11] 平岡祥孝(2016b)「EU主要乳製品輸出の動向」『日本EU学会年報』第36号, pp.95～120。
- [12] 平岡祥孝(2017)「生乳クォータ制度廃止以降のEU酪農部門の現状分析」『札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要』第47号, pp.79～88。
- [13] European Commission(2014) *The Prospect for EU Agricultural markets and income 2014-2024*.
- [14] European Commission(2016) *The EU in the world 2016*.
- [15] European Commission(2017a) *EU Agriculture Outlook for the Agricultural Market and Income 2017-20*.
- [16] European Commission(2017b) *Short-term outlook for EU agricultural markets in 2017 and 2018*.